



植柳の風

八代市立植柳小学校 校長室便り
平成31年1月28日 NO. 124

「体力・気力・努力」



女子一斉スタート



男子一斉スタート



みんなで記念撮影

第37回を迎えた小学校駅伝競走大会が、26日(土)、午前7時30分頃の天候は薄曇り、気温は7度。会場は、球磨川河川敷周回コースなので、風光明媚な景色が広がっているが、雄大な九州山地から吹き下ろしてくる谷風や日本列島全体を襲った低気圧の寒波は、八代地方にも冷たい強風をもたらした。

今年から陸上競技協会と協議し、女子の部も新たに新設され、女子19チーム、男子34チームと歴代最多のチームが出場した。午前8時30分開会行事の後、午前9時半からまず女子の部がスタート。我々が植柳小女子チームも上がり下がりであったものの、たくさんの声援を背に受けながら全員がひた走った結果、9位を獲得することができた。タイムも厳しいコンディションを考えるとほぼベストの走りができたといいだろう。

引き続き、午前10時半から男子の部のスタート。一斉に猛スピードでダッシュする力走ぶりは迫力があつた。我々が植柳小からはA、Bチームが出場したが、寒風に負けず懸命に走りぬき、Aチームが15位、Bチームが28位という結果であった。終わった後は、選手、補員、サポーター、保護者、応援に駆け付けてくれた同級生たちと笑顔で談笑する姿が見られ、ほのぼのとした雰囲気とともに、試合の緊張が終わった後の安堵感が漂っていた。

「選手の皆さん、この寒中、そして強風が吹くという厳しい天候の下、よく頑張りました。『やるだけやった』『全力を尽くした』という安堵した様子が皆さんの表情から伺えます。さて、優勝を飾られた小学校の皆さん、優勝おめでとうございます。この優勝は、一人一人の努力はもちろん、チームとして練習を通じて培ってきたチームワークの賜だと思います。また、残念ながら、目標に届かなかった個人やチームの人たちもよく頑張りました。流した汗は裏切らない、これまで努力してきた時間はきっと貴重な体験となったことと思います。

心も体も強くなった皆さんは、今回の経験を生かし、6年生はさらに中学校で、そして5年生以下の人たちは、来年また本大会に挑戦して欲しいと思います。

ところで、NHK大河ドラマ「韋駄天」の主人公金栗四三さんを知っていますか。熊本県出身の方で元マラソンオリンピック日本代表。でも、オリンピックでゴールできなかったという悔しさをバネに、国内のマラソン大会を企画したり、箱根駅伝を作り上げたりと、日本マラソン界の礎を築いた方です。その金栗さんの言葉で「体力・気力・努力」が有名です。これは、勉強やスポーツ、生活面でも、何かをなすときに大切な言葉ではないでしょうか。皆さんがこの駅伝で鍛えた「体力、気力、努力」といった力をこれからの学校生活でぜひ生かしてください。最後になりましたが、本大会を運営していただいた八代市陸上競技協会、小学校体育連盟の先生方、早朝より応援に駆け付けていただいた保護者、地域の皆様に心から感謝を申し上げまして、大会の講評といたします。」

最後の閉会式講評は、会場に集まった全員の拍手で締めくくった。



金栗四三選手